令和５年度版

太子町財政状況

政策総務部　総務財政課

太子町マスコットキャラクター　たいしくん

TAISHI

大阪府南河内郡太子町

沿革

昭和31年9月に山田村と磯長村が合併し、**聖徳太子の御墓**があることから聖徳太子の和の精神のもと太子町と名付けられる。

歴史

日本最古の官道である**竹内街道**を中心に町内には郷土を物語る文化財が溢れ、特に古墳では推古天皇など皇族の陵墓が多く残っている。

大阪府内初の日本遺産認定

地勢

鉄道や南阪奈道路を使えば、大阪市内から約30分といった立地でありながら、里山の自然や暮らしとともに歴史を感じさせる御陵や寺院が身近にある**コンパクトシティ**。

概要（R2国勢調査）

人口：13,009人
人口伸び率：　▲3.3％
高齢化率：29.7％
行政区域面積：14.17km

主要産業

果樹栽培に適した地形と気候である。

ぶどうは特に**デラウェア**や巨峰の栽培が盛んで府内有数の生産量である。

また、**ピオーネ・シャインマスカット**といった大粒ぶどうの味も抜群。

みかんは丘陵地において古くからコクのある味の良いみかんが**「なにわ特産品」**に選定されている。

太子町HP
https://www.town.taishi.osaka.jp

https://twitter.com/taishi_cho

https://www.facebook.com/taishikun/

目次

・はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

【第１部：令和５年度普通会計決算状況】

・会計について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
・決算って何？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
・町の収入にはどんなものがあるの？・・・・・・・・・・・・・・5
・町の支出にはどんなものがあるの？・・・・・・・・・・・・・・7
・主要事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
・家計簿に置き換えてみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

【第２部：もっと詳しく見てみたら】

・歳入歳出決算の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
・地方債(町債)の現状を見てみよう・・・・・・・・・・・・・・・13
・基金(町の貯金)を見てみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・14
・主な財政指標を見てみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
・町がこれから直面する課題は？・・・・・・・・・・・・・・・・17

はじめに

本町をはじめとした地方公共団体は、子育て支援や高齢者に対する施策といった社会保障関係、教育施策や公共施設の管理など様々な事業を行っています。事業を行うには、経費がかかり、その財源として住民の皆さまから納めていただいた税金などで賄います。

しかしながら、財源にも限りがあるため、計画的に使い道を考えていく必要があり、その計画を作成したものが予算と呼ばれ、毎年、新たな年度がはじまる前に作成しています。

そして、年度が終わった後に、その計画がどのように実施されたか、税金などがどのような事業に使われたかなどの実績を住民の皆さまに明らかにする必要があります。

その実績を決算といい、毎年度終了後、決算書というかたちでお示ししておりますが、それだけでは、「今年度の決算はどうなの」、「財政状況はどうなの」といった内容が分かりにくいことから、少しでも本町の財政状況を知っていただくために本書を作成しました。

第１部：令和５年度普通会計決算状況

会計について

決算では、太子町の１年間の収入（歳入）と支出（歳出）にどのくらいかかったのかが分かりますが、まずは会計についてご説明します。

太子町の会計は、**一般会計・特別会計・公営企業会計**の3種類となっています。

一般会計

町の仕事の中でも福祉や教育、道路、公園などの整備、修繕といった経費についての会計で、町財政の基本となるもの。

特別会計

特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区分して経理する必要がある場合に設けられる会計で、本町では、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、財産区の各特別会計があります。

公営企業会計

独立採算による特定の事業を経理する会計で、本町では、下水道事業会計があります。

会計とは、お財布みたいなもので、基本的な経費のためのお財布(一般会計)のほかに、特定のものにだけ使う特別なお財布(特別会計など)があります。

特別会計などは、法律で持つことが決められているものと、独自でもつことができるものがあり、各市町村によって様々です。そのため、そのままでは全国の市町村の財政状況と比較することが難しいことから、ここでは普通会計(一般会計と特別会計などの一部を組み合わせて、他の市町村と容易に比較できるように考えられたもの)を用いて本町の財政状況を説明します。

それでは、本町の令和５年度の普通会計の決算状況をみていきましょう。

Q1

決算って何？

「決算」って何？

地方公共団体は、住民の皆さまから納めていただいた税金を財源とし、多くの事業を行っております。
１年間にどのような事業にいくら使ったのか収入と支出の収支報告を決算といいます。決算は、予算が適正に執行されたかどうかを住民の皆さまや議会で判断していただくために提供することになります。

収入ってどこから入るの？

太子町の収入のおよそ２割が、皆さまが納めている税金です。また、他にも国や大阪府から配分されたり、施設や道路の整備をするために国や銀行等から借り入れた借金などもあります。

支出って何に使っているの？

太子町では計画的にお金をどう使うかを決めた予算をもとに、皆さまが必要とする様々なものに使っています。詳しくは後程。。。

太子町の財政は黒字？赤字？

右の図のとおり、収入総額から支出総額の差引は2億円の黒字となりますが、決算収支の見方では…

令和５年度の決算

収入総額：63億7千万円	支出総額：61億7千万円
	黒　字(2億円)
住民の皆さまや町内の事業所が納めた税金【町税】	庁舎の運営管理 企画、広報、徴税など【総務費】
国から配分されたお金【譲与税・交付金】	子育て支援、高齢者、医療、障がい者福祉など【民生費】
国・府が認めた事業に対して配分されたお金【国・府支出金】	ごみの処理など【衛生費】
借金【町債】	道路の整備など【土木費】
その他	消防など【消防費】
	学校教育、生涯学習など【教育費】
	借金の返済【公債費】
	その他

収入総額63億7千万円－支出総額61億7千万円＝

2億円の黒字！？

こうして見ると
2億4百万円の黒字だけど。。。

普通会計決算

歳入(入ってきたお金)：63億7千万円
歳出(出ていったお金)：61億6千6百万円

歳入－歳出＝2億4百万円

単純な歳入歳出差引(**形式収支**)で見ると、2億4百円の黒字となりますが、ここには前年度からの繰越金や翌年度に繰越す必要のあるお金、その他前年度以前からの収支の累積も含まれているため、純粋な令和５年度の収支とは言えません。純粋な黒字(赤字)額はどうなっているのでしょうか。

実質収支＝形式収支－翌年度に繰越すお金

年度内に何かしらの理由により事業が完了しなかった事から次の年度に繰越す必要がある財源などを除いた、当該年度にあった収入支出の収支の差額。財政運営状況を判断するポイントとなります。

単年度収支＝今年度の実質収支－前年度実質収支

当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額であり、当該年度のみの実質的な収入と支出の差額を意味します。

また、単年度収支に貯金等を加え、貯金の引出額を差し引いたものを**実質単年度収支**といい、実質単年度収支が赤字なら、それは貯金の取り崩しなどにより、資金をやりくりしていることになります。令和５年度の実質単年度収支は、**約8千3百万円の黒字**になりました。

令和５年度決算収支		
／	歳入総額(入ってきたお金)	63億7千万円
－	歳出総額(出て行ったお金)	61億6千6百万円
＝	**形式収支**	2億4百万円
－	翌年度に繰越すお金	4千万円
＝	**実質収支**	1億6千4百万円
－	前年度実質収支	1億6千5百万円
＝	**単年度収支**	▲1百万円
＋	貯金	8千4百万円
－	貯金の取崩し	0円
＝	**実質単年度収支**	8千3百万円

【どういった状況なのか】

区　分	前年度の実質収支が黒字	前年度の実質収支が赤字
単年度収支の黒字	余剰金の発生	過去の赤字の解消
単年度収支の赤字	**過去の余剰金が減る**	赤字額の増加

区　分	黒字	赤字
実質単年度収支	貯金の増加	貯金の減少

令和５年度の収支では、過去の余剰金を減らしながらだけど、貯金もできて、黒字になったんだね！
なにか対策をしたのかな？
実際に太子町にはどんなお金が入ってきてるの？

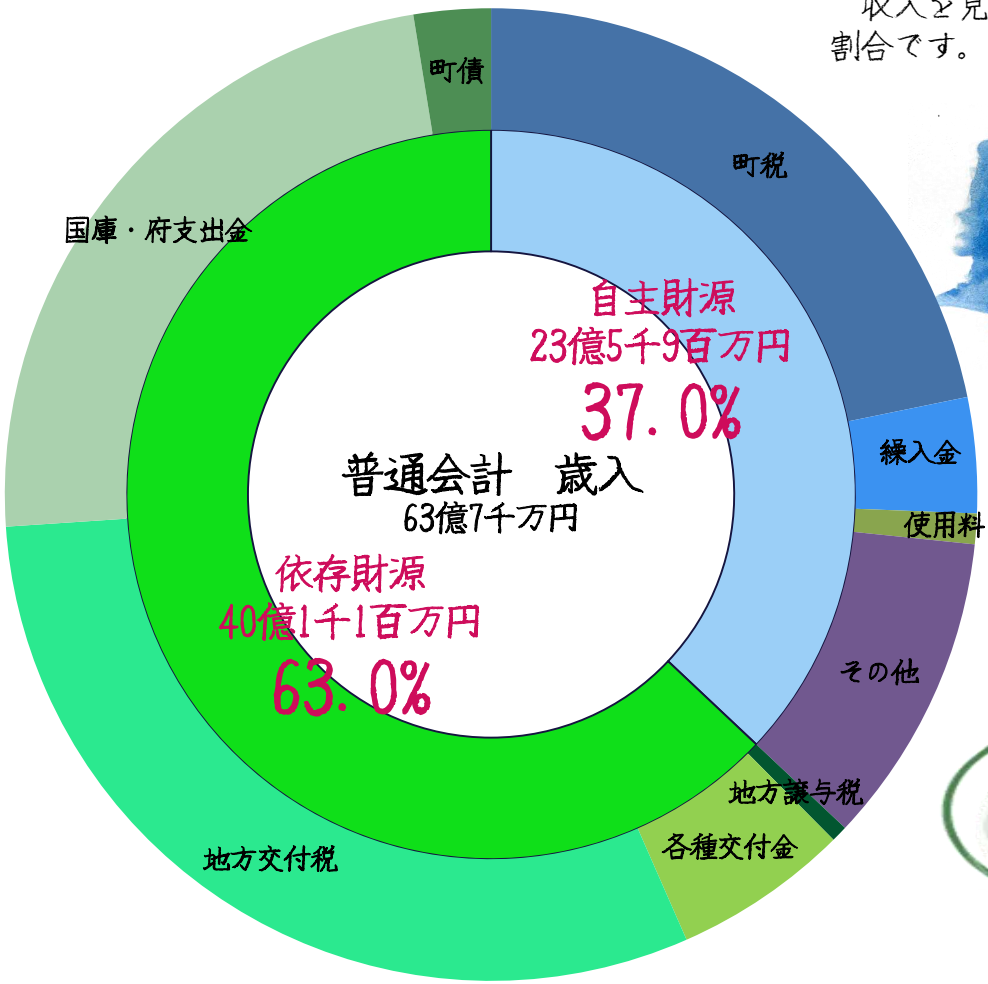
Q2

町の収入にはどんなものがあるの？？

収入(歳入)の状況
～町の収入にはどんなものがあるの？～

太子町の令和５年度の収入は約63億7千万円でした。その中でも大きな割合を占めているのが、町税や地方交付税で、このほか、国や大阪府から配られる国庫・府支出金や町債(借金)など、様々なものがあります。本年度は、町税やふるさと太子応援基金繰入金の増加などが影響して、自主財源比率が上がりました。

収入を見る上で把握しておきたいのが、**自主財源**と**依存財源**の割合です。ところで、自主財源と依存財源とは何でしょうか。



自主財源

太子町が課税をして徴収することができる町税や、独自に決め収入することができる総合スポーツ公園などの使用料が該当します。

依存財源

国や府の決定により交付される収入であり、地方交付税や補助金、町債などが該当します。

太子町の自主財源比率は約37％と4割を切っているんだ。
外的な要因に頼る部分が大きいから、町の自由度が限られちゃうんだね。。
次のページでは、それぞれ具体的な中身を見てみよう！

自主財源

町が自主的に収入できる財源

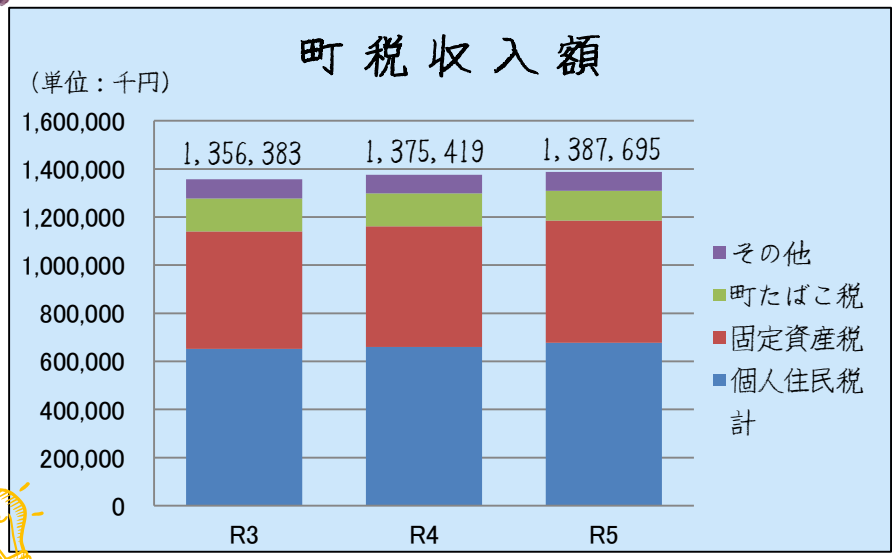
23億5,852万7千円

町税：13億8,769万5千円
住民の皆さまから納めていただいた税金
（個人住民税、固定資産税など）

繰入金：2億4,454万7千円
基金などからの繰入金

使用料・手数料：6,451万3千円
施設の使用料や行政サービスの手数料

その他：6億6,177万2千円
分担金、負担金、前年度からの繰越金、寄付金など



町税の中身をチェック！

太子町では、個人住民税と土地・家屋にかかる固定資産税の割合が大きく、この2つの税収で全体の8割を占めています。

依存財源

国や府から交付され国や府の情勢に左右される財源

40億1,165万6千円

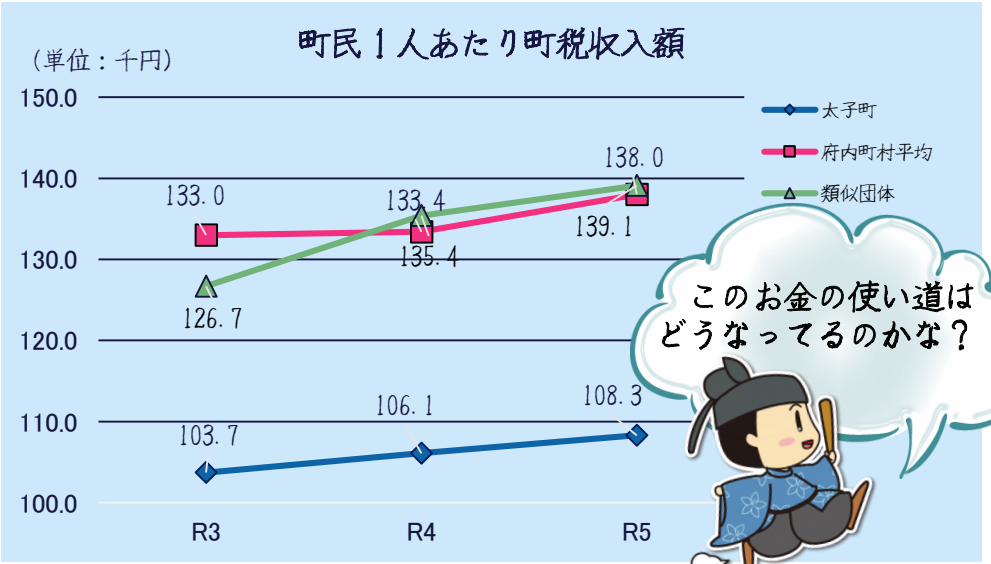
地方譲与税：3,448万1千円
国税の一定基準が地方公共団体に譲与されるもの

各種交付金：3億7,256万4千円
地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金など

地方交付税：19億4,487万1千円
自治体間の財源調整などを目的として国が集めた税金を自治体に再分配されるもの

国庫・府支出金：14億9,673万6千円
国や大阪府から交付されるもの

町債（借金）：1億6,300万4千円
施設整備などのために借り入れたもの



Q3

町の支出にはどんなものがあるの？？

目的別経費？

性質別経費？

義務的経費？
任意的経費？

支出(歳出)の状況
～町の支出にはどんなものがあるの？～

歳出は、使い道や目的によって様々な見方が出来ますが、まずは
『目的別経費』と**『性質別経費』**という2つの視点で見てみましょう。

目的別経費

行政サービスを
目的別に分類した経費

子育てや医療、健康や環境、道路、教育など、予算を**どんな目的**で使ったかに分類します。
令和5年度は、新型コロナの収束もあり、障がい福祉や介護サービスなどの給付費が大きく増加したこともあり、決算の約4割を占めています。

これからも少子高齢化が進むことが予想されるから、高齢者福祉や医療などに必要な民生費がどんどん膨らんじゃいそうだね

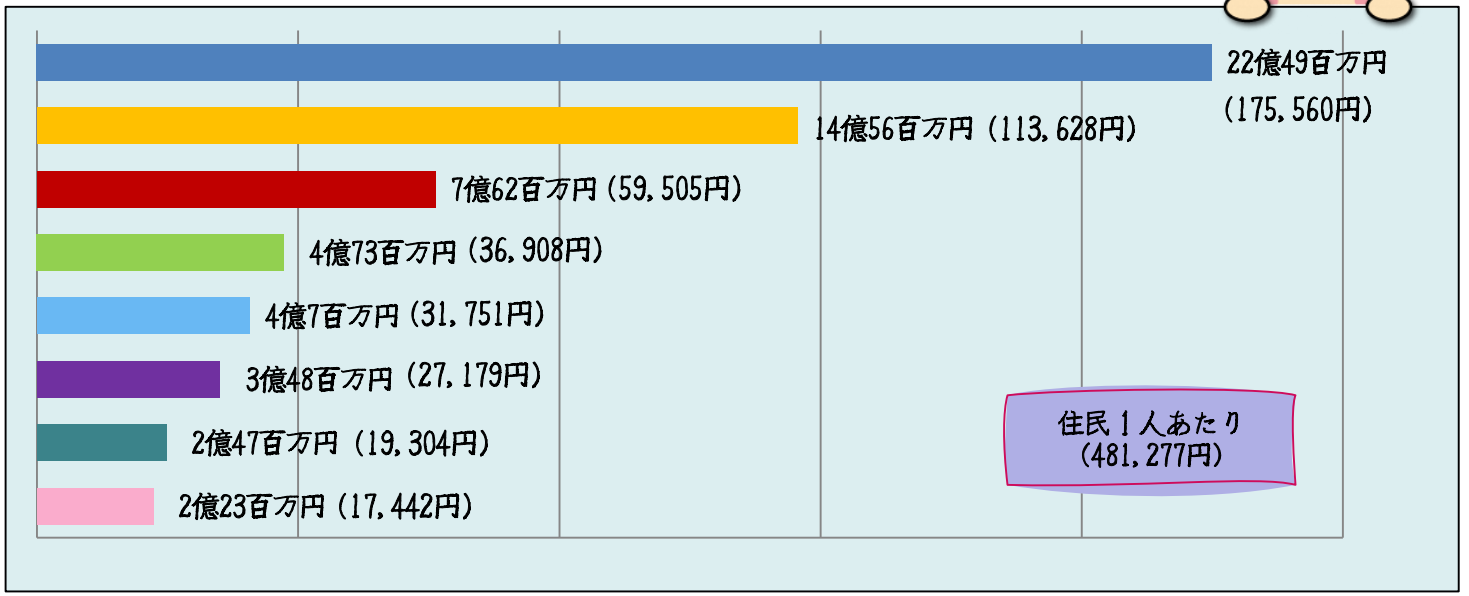
決算額の大きな割合を占めている民生費の約22億円って、どんな目的に使ってるの！？

- 子育て支援施策
- 障がい者福祉施策
- 医療福祉施策
- 高齢者福祉施策

etc...

【目的別分類一覧】

- **民生費**
  子育て、障がい者福祉、医療など
- **総務費**
  庁舎管理、戸籍、徴税など
- **教育費**
  学校教育、社会教育など
- **衛生費**
  健康増進、ゴミ処理など
- **公債費**
  借金の返済
- **土木費**
  道路、公園、まちづくりなど
- **消防費**
  消防、災害対策など
- **その他**
  議会、農林業費、商工費



性質別経費

行政サービスを
性質別に分類した経費

「人にかかる経費(人件費)」「建物など将来への投資となる経費(投資的経費)」など性質別に分類します。

また、支出が法令などで義務付けられた任意に減らすことができない経費のことを**義務的経費**といい、義務的経費には「人件費」「扶助費」「公債費」があります。

それ以外の経費は、**任意的経費**といいます。

義務的経費の割合は増加傾向☆
これが膨れると自由に使えるお金が
少なくなるんだ。

少子高齢化に伴い、義務的経費の中でも特に「扶助費」が増加傾向にあります。任意的経費の中では物件費が大きな割合を占めており、今後も施策や事業の優先的選択と財源の確保が重要になってきています。

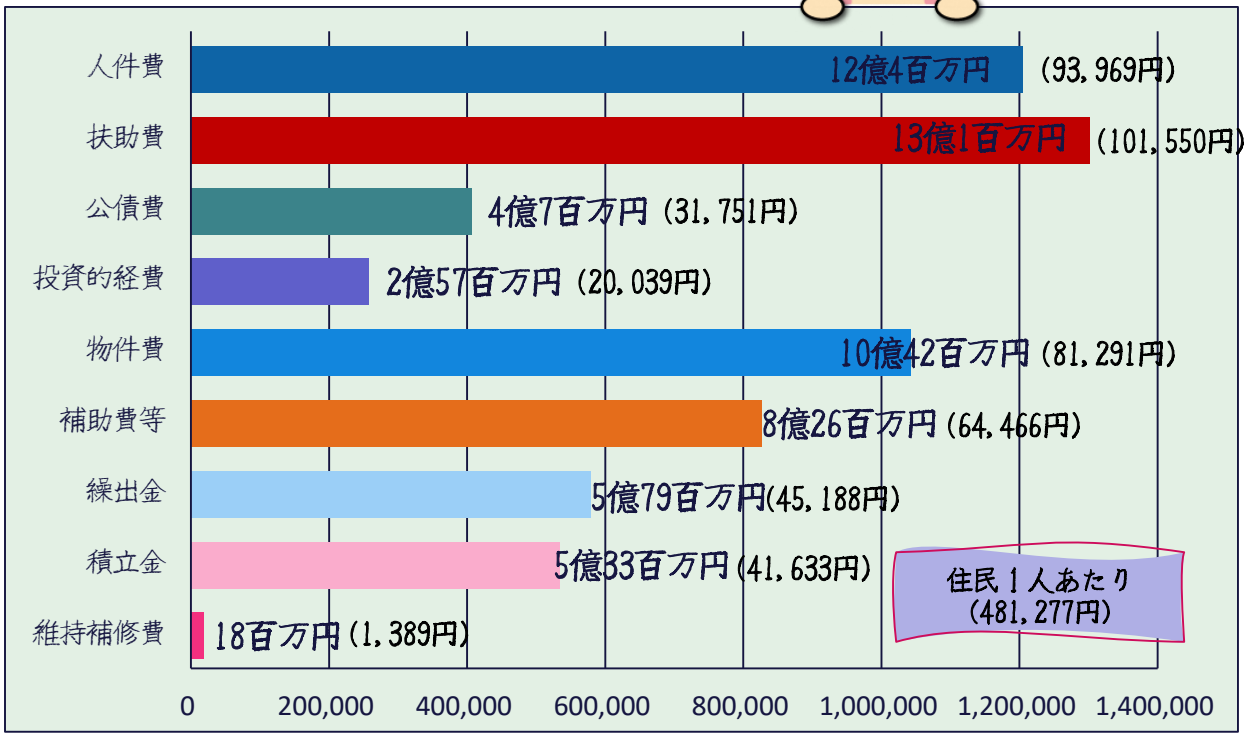
【性質別分類一覧】

義務的経費

- **人件費**
  職員の給料、行政委員報酬などの費用
- **扶助費**
  子どもや障がい者、高齢者などを支援する費用
- **公債費**
  借金返済の費用

任意的経費

- **投資的経費**
  公共施設、道路、学校などの整備費用
- **物件費**
  光熱水費、業務委託、物品購入費用など
- **補助費等**
  事業や団体に対する補助金などの費用
- **繰出金**
  特別会計などへ支出する費用
- **積立金**
  基金へ積立(貯金)するための費用
- **維持補修費**
  公共施設の修繕に要する費用



令和５年度主要事業

土木費

町道老朽化対策事業　32,525千円

- インフラ長寿命化計画に基づき、維持管理、更新等を着実に推進するための個別施設計画に位置付けられた町道の改修事業など

教育費

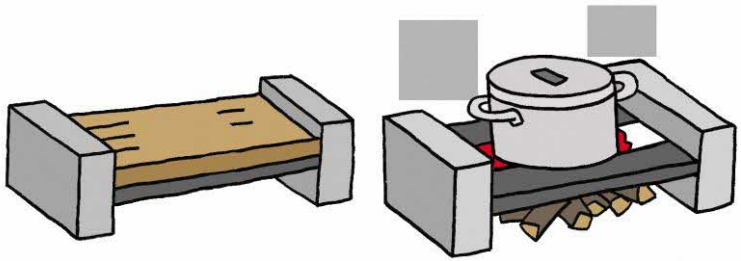
総合スポーツ公園改修事業　43,284千円

- 文教施設の個別施設計画に基づき、総合スポーツ公園の維持管理のため、総合グラウンドの照明設備のＬＥＤ化事業

土木費

都市公園整備事業　59,699千円

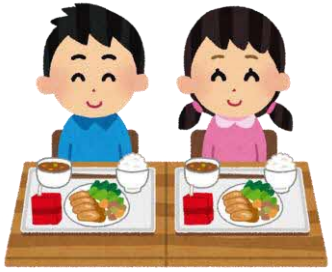
- 老朽化した公民館を解体撤去し、跡地を防災機能を併せ持つ都市公園として整備する事業



教育費

学校給食運営事業　44,814千円

- 町立学校園（幼稚園、小学校、中学校）の給食費保護者負担金補助による給食費無償化事業



家計簿に置き換えてみよう

1ヵ月あたり

第１部では、令和５年度の収入と支出の決算状況について説明しましたが、数字が大きすぎて中々、実感が沸いてきません。そこで、年収４８０万円（１ヵ月あたり４０万円）の家庭に置き換えてみましょう。

歳入（収入）		歳出（支出）	
①給料（市町村民税）	8万7千円	①食費（人件費）	7万6千円
②パート収入（使用料・手数料など）	6千円	②医療費（扶助費）	8万2千円
③親からの仕送り（地方交付税、国庫・府支出金など）	24万2千円	③住宅ローン返済（公債費）	2万6千円
④貯金の取崩し（繰入金）	1万5千円	④その他生活費（物件費・補助費等）	11万7千円
⑤銀行からの借入（町債）	1万1千円	⑤家の増改築費など（投資的経費）	1万6千円
⑥その他臨時収入（寄付金、繰越金など）	3万9千円	⑥家電や車の修理（維持補修費）	1千円
		⑦子どもたちへの仕送り（繰出金）	3万6千円
		⑧貯金（積立金）	3万3千円
収入合計	**40万円**	**支出合計**	**38万7千円**

食費、医療費、生活費に多く使っているから、家電や車が壊れたときは貯金ができなくなっちゃうね。

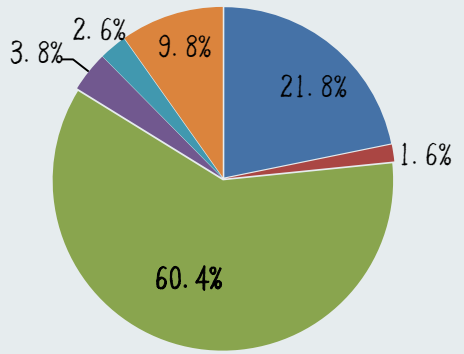
年収４８０万円に対して貯金と借金の状況は？

貯金：約２１３万円

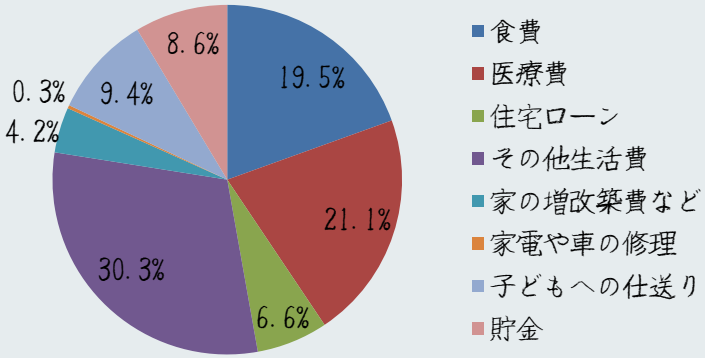
借金：約２４７万１千円

仕送りが全体の６０％超😱
全然自立出来てないなぁ。。。

収入の内訳



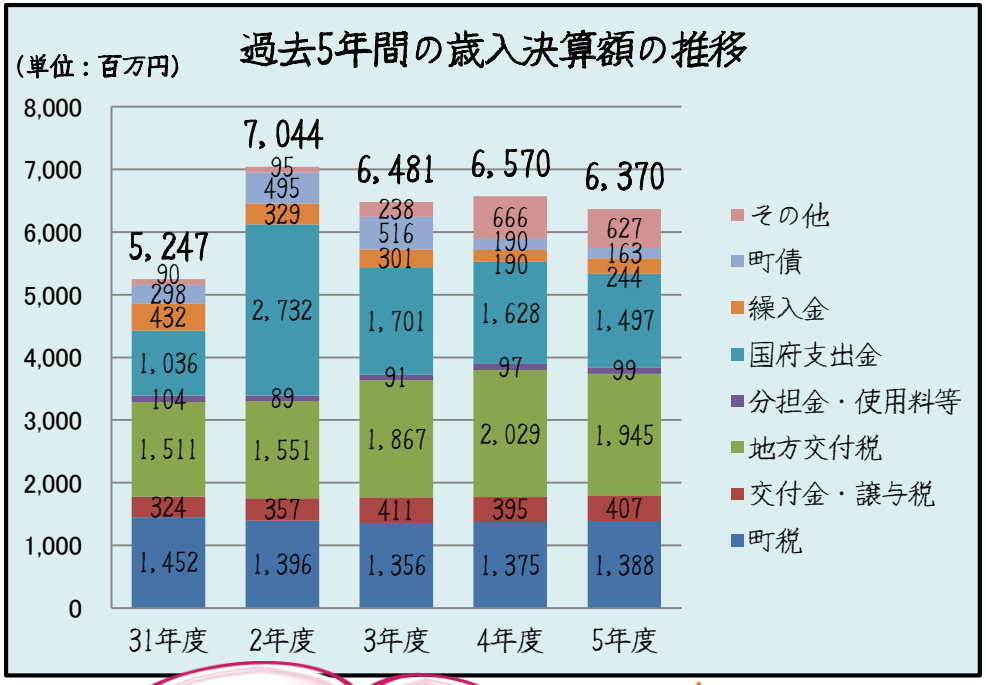
支出の内訳

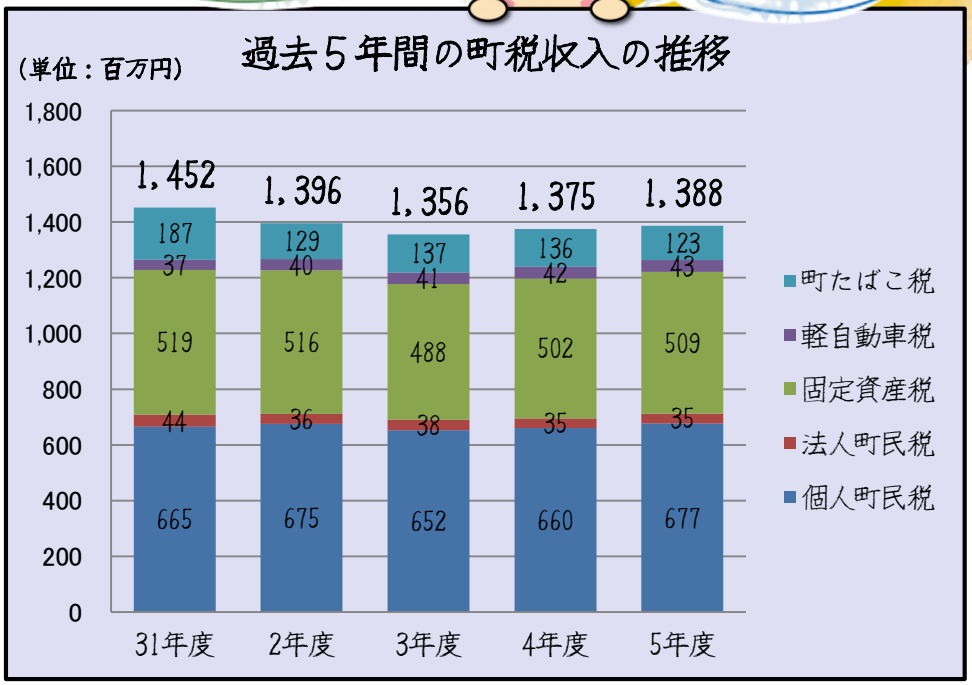


第２部：もっと詳しく見てみたら

歳入歳出決算の推移

（１）歳入





法人税は大阪府内全市町村の中で二番目に少ないんだよ。

自主財源確保のために、企業誘致と雇用創出を促進しないといけないね！

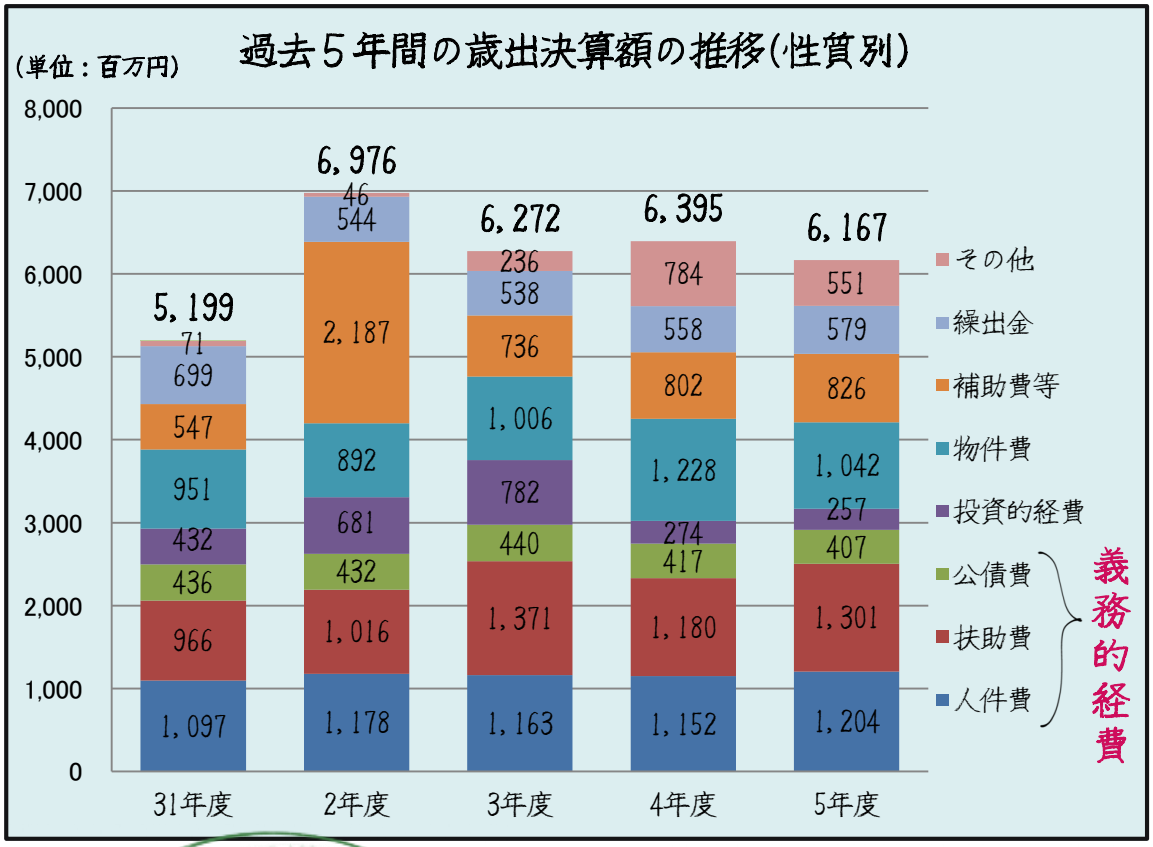
ふるさと納税が増加傾向にあるけれど、もっと太子町を全国にPRしなくっちゃ！！みんなも応援してね♪

過去５年間の歳入の推移を見てみると、税収は減少傾向にあるものの、決算規模としては増加傾向にあります。令和２年度決算は、新型コロナウイルス感染症対策の国施策の影響により国庫支出金が大きく増加したほか、生涯学習センターの整備にかかる町債などの増加がありました。

令和５年度については、町税が増加となったほか、ふるさと太子応援基金繰入金が増加しました。その一方で、地方交付税が大きく減少したほか、投資的経費にかかる町債が減少しました。

歳入歳出決算の推移

（２）歳出



令和５年度の義務的経費は全体の４７％を占めているよ

コロナ関連経費の影響で見えにくくなっているけど、扶助費はどんどん増えてきてるんだって

●性質別経費
行政サービスを目的別に分類した経費

●扶助費
子どもや障がい者、高齢者などを支援する費用

●義務的経費
法令などで義務付けられた任意に減らすことが出来ない経費

歳出の状況を使いみち(性質別)ごとに見ていきます。

人件費は、これまで職員数の削減、各種手当などの見直しにより削減を進めてきましたが、ここ数年は退職手当や物価高騰による賃上げなどにより増加傾向で推移しています。

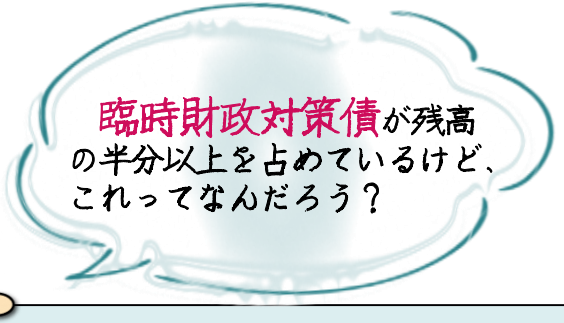
扶助費も同様に、国の子育て支援施策や障がい者施策などにより増加傾向で推移しています。

その他の経費では、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策の影響で令和２年度以降の補助費等が大きく増加したほか、ふるさと納税による積立金も令和４年度から増加しています。

物件費については、ふるさと納税の委託料や新型コロナウイルス感染症対策で令和４年度に実施したキャッシュレス決済還元キャンペーン事業委託料などが影響して、令和５年度では減少しました。

新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策の影響で見えにくくなっていますが、決算規模は年々増加しています。

地方債(町の借金)の状況を見てみよう！



地方債って何？

地方債とは、町が財政上、多額のお金が必要な時に、国や銀行などから借り入れる資金のことです。原則として、道路や公共施設の整備・改修などの財源とする場合に借りることが出来ます。

どうして借金するの？

地方債は借金なので、しない方が良いという考えもありますが、道路や学校などの公共施設の整備、改修にはたくさんのお金が必要となります。

1年間の予算で全て支払ってしまうと、その年は他の行政活動が出来なくなる恐れがあります。そのため、資金を借りて分割返済することにより、その年の支出を抑え、他の行政活動にも取り組む事が出来ます。

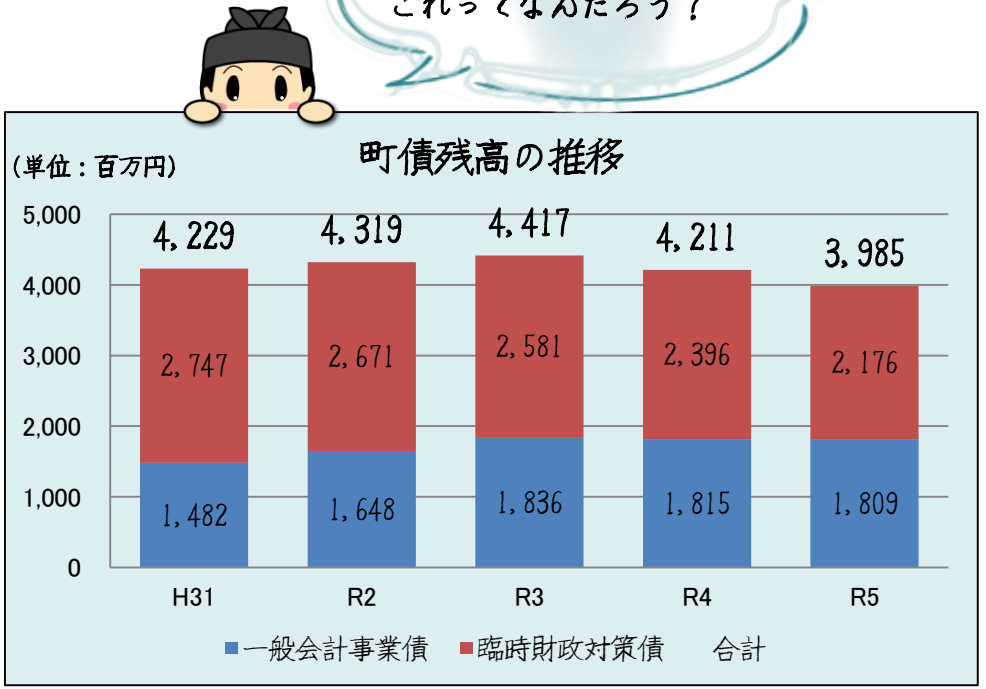
また、これらの施設は将来の住民の方々も利用されるので、将来にわたって平等に費用を負担して頂くことも借金する理由の一つです。

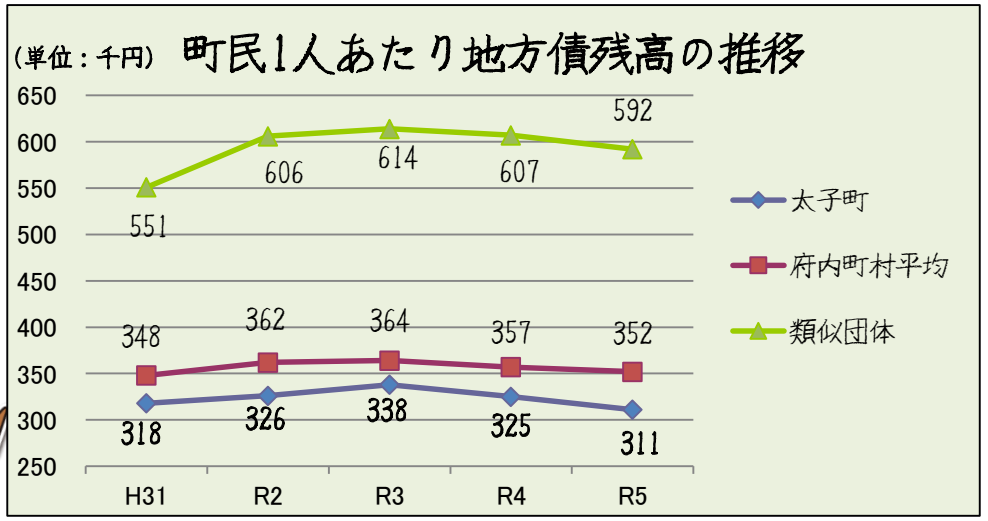
臨時財政対策債って何？

本来は国が地方交付税を現金で用意しなければならないのですが、国の財政状況も厳しく、地方交付税の財源が足りないため、地方公共団体がそれぞれ借入することで、その不足分を確保する借金のことです。

地方交付税として本来交付されるべきものが借金に振り替えられているため、元金・利子の支払いについては後年度の地方交付税に加算されます。

これまでの返済額とのバランスを考慮しながら、計画的な借入を実施してきたことから地方債残高は年々減少傾向にあり、町民一人あたりに換算しても類似団体平均を大きく下回っています。





基金(町の貯金)の状況を見てみよう！

基金って何？

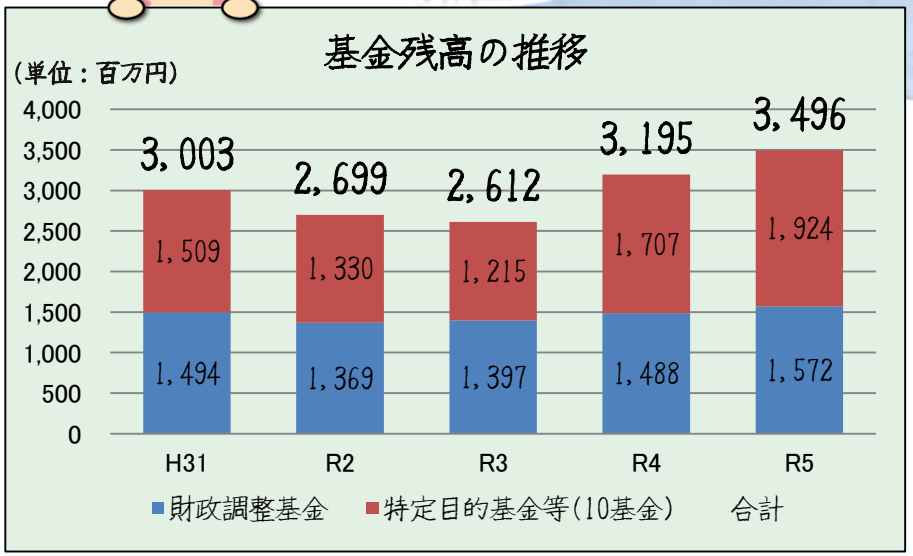
町にも貯金があって、「基金」と呼ばれています。基金には種類があり、最も大きな基金は**「財政調整基金」**といって、急な収入の減少や支出の増加に備えて積立てています。その他、公共施設の整備、福祉の充実、振興など特定の目的の事業のために充てる**「特定目的基金」**などがあります。

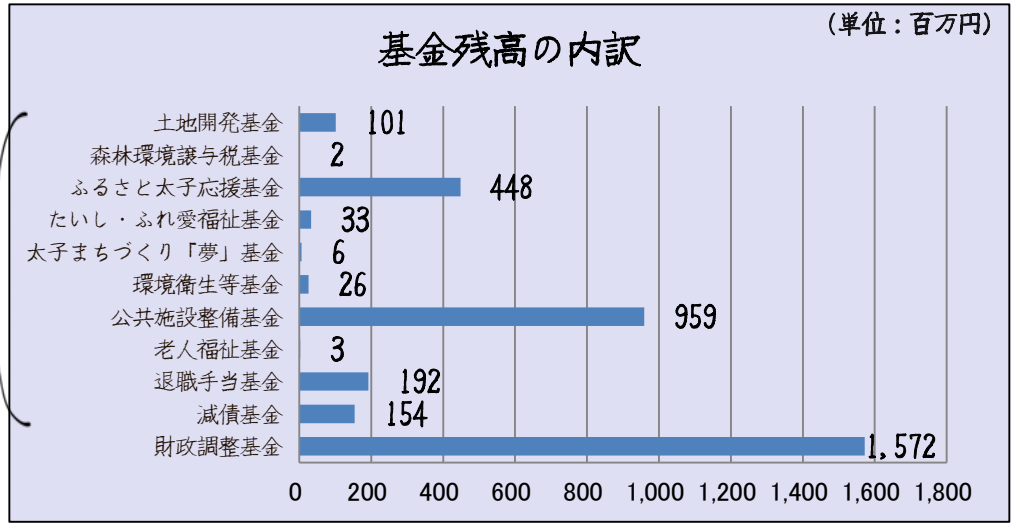
基金はどのくらいあるの？

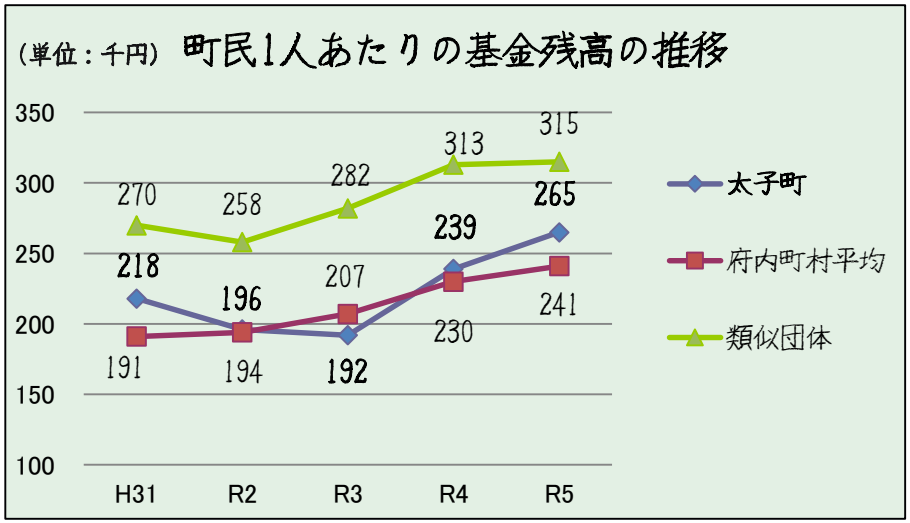
令和５年度の基金残高は、ふるさと太子応援基金や公共施設整備基金の積立を行ったことなどにより、前年度と比較して３億円増加し、**約３５億円**となっています。

今後、施設の老朽化対策などに基金を活用する必要があることから、**基金残高は減少**していくことが見込まれます。

今後の持続可能な行財政運営を維持するため、財政調整基金残高を**標準財政規模の20％に相当する額（約７億円）**堅持していきます。





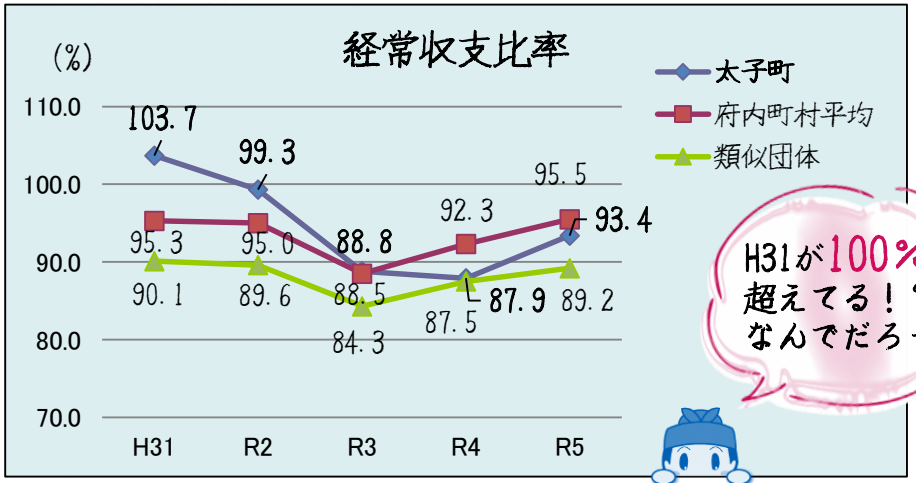


主な財政指標を見てみよう！

経常収支比率

～自由に使えるお金はどのくらい？～

経常収支比率は、財政の**硬直化を示す指標**です。言い換えれば、「自由に使えるお金」のうち、どのくらいの割合を義務的経費が圧迫しているかを示す指標で、財政のゆとりを見ることが出来ます。

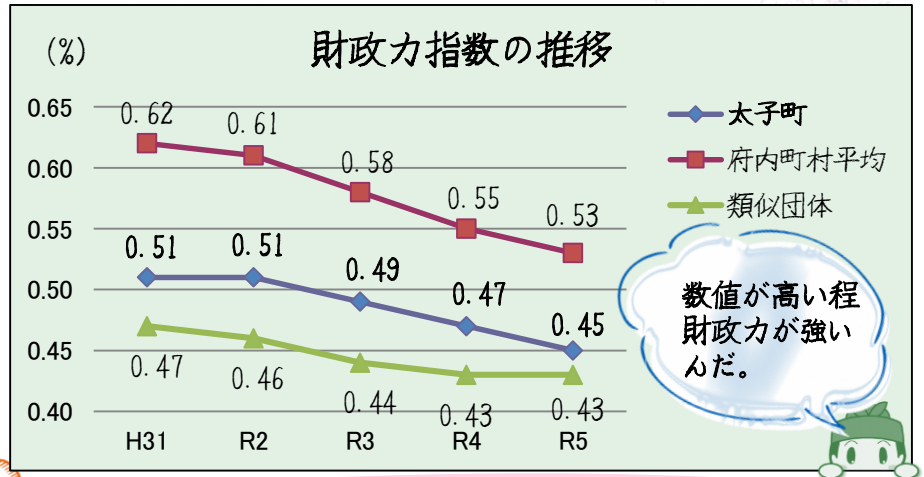


H31が100%を超えてる！？なんでだろう？

財政力指数

～自己資金力はどのくらい？～

地方公共団体の**財政力の強弱**を表すもので、毎年必要なお金に対して、その地方公共団体がどのくらい自力で調達できるかを表したものです。



数値が高い程財政力が強いんだ。

府内町村平均より下回っており、財源に余裕があるとは言えない状況です。

硬直化の要因は？

税収の落ち込みや、少子高齢化に伴う扶助費をはじめとした社会保障経費、委託料などの物件費が増加傾向にあることが硬直化の要因となります。

経常収支比率は平成３１年度で103.7%と非常に高い数値となり、財源を活用するゆとりがない状況でした。その後は低下傾向にありますが、これは主に普通交付税が増額したことによるもので、経常的な事業経費が削減された訳ではありません。

府内の町村平均も本町と同様に高い水準で推移しており、類似団体との比較では、非常に高い比率となっています。

財政が硬直化すると、新しい事業や機動的な財政上の対応が出来なくなるんだ。

企業誘致の推進など税収を増やすために、より一層魅力的で財政力の強い町にしないといけないね。

主な財政指標を見てみよう！

実質公債費比率

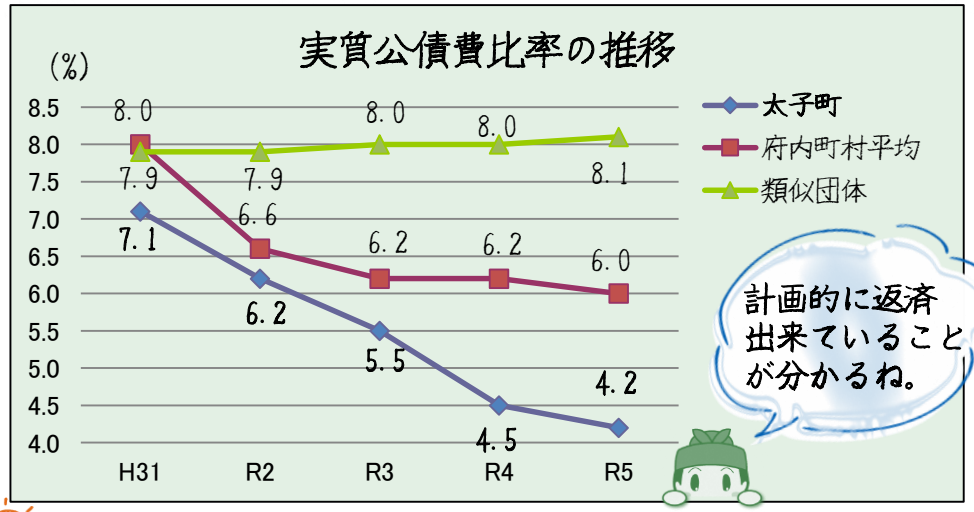
～借金返済の負担状況は？～

実質公債費比率は、収入に対する**年間返済額の割合**を表す比率です。
家計に例えると、年収に対して借金がいくらあるかという割合をみるものです。

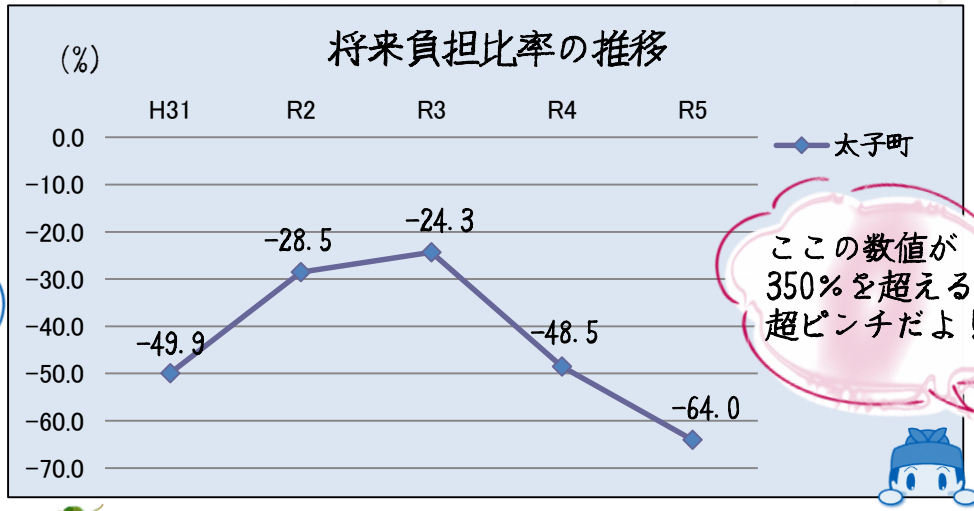
将来負担比率

～将来世代の負担はどうなの？～

将来負担比率は、一般会計等の公債費など将来支払っていくものの現時点の残高を指標化し、**将来的に財政を圧迫する可能性の度合い**を示すものです。



計画的に返済出来ていることが分かるね。



ここの数値が350％を超えると超ピンチだよ！

実質公債費比率は年々減少傾向にあり、令和４年度で４％台まで減少し、府内町村平均及び類似団体よりも低い水準を維持しています。

令和４年度にオープンした生涯学習施設も、町債を借り入れて建設したから、収入が増えないと比率が上昇するんだ。
収入のことも考えながら、施策を実施することが健全な状態を保つ秘訣だね。

将来負担比率350％超えると？

国が定める基準として350％が早期健全化基準で要注意状態となり、財政健全化計画の策定等（議会の議決）が義務付けされます。

将来負担比率の数値はマイナスで推移しており、健全な状態であると言えます。しかしながら、今後は公共施設の老朽化対策など多額の経費が想定されることから、注意しながら引き続き健全化の取り組みを進める必要があります。

Q4

町がこれから直面する課題は？？

町がこれから直面する課題は？

少子高齢化・人口減少

本町でも、少子高齢化の進展とともに人口が減少するという大きな人口構造の変化が着実に進行しています。

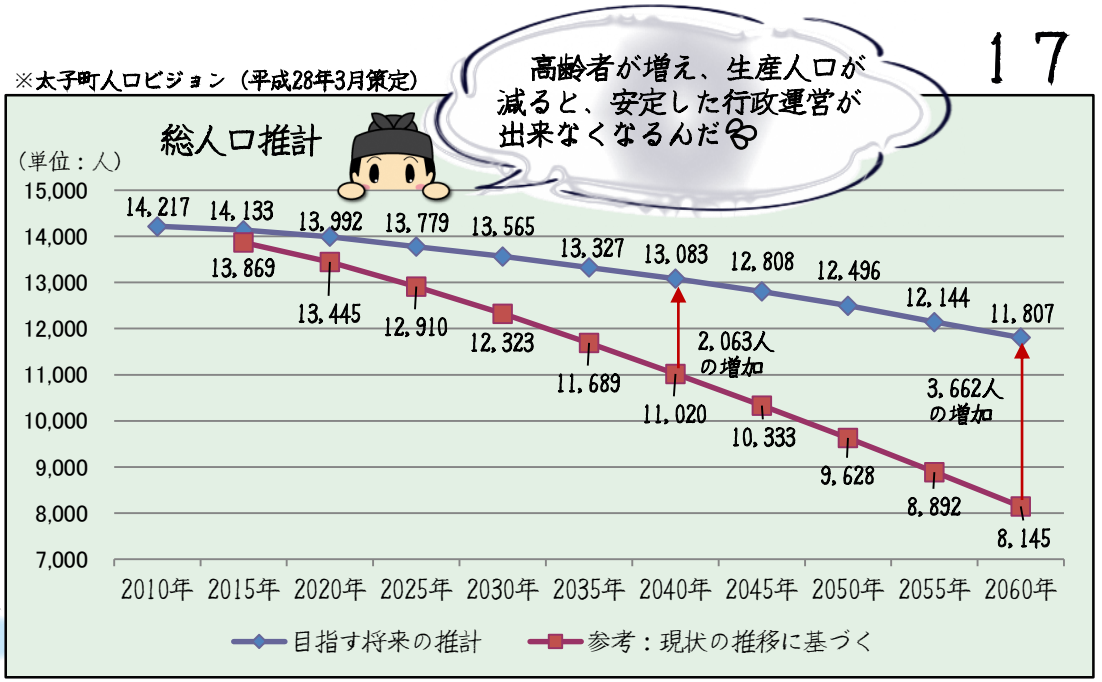
生産年齢人口の減少による町税収入などの減少、高齢者の増加に伴う医療費・社会保障関係経費の増加が懸念されます。

①若年層に対する施策
②子育て世帯に対する施策
③高齢者に対する施策

世代別に適切な施策対応で人口減を少しでも鈍化させるんだ！

若年層の就職や大学進学等を契機とした転出の抑制や、子育て世代の転入促進、高齢世代が安心して生涯活躍が出来る暮らしの実現に向け、３つの世代別の課題に取り組んでまいります。

※太子町人口ビジョン（平成28年3月策定）

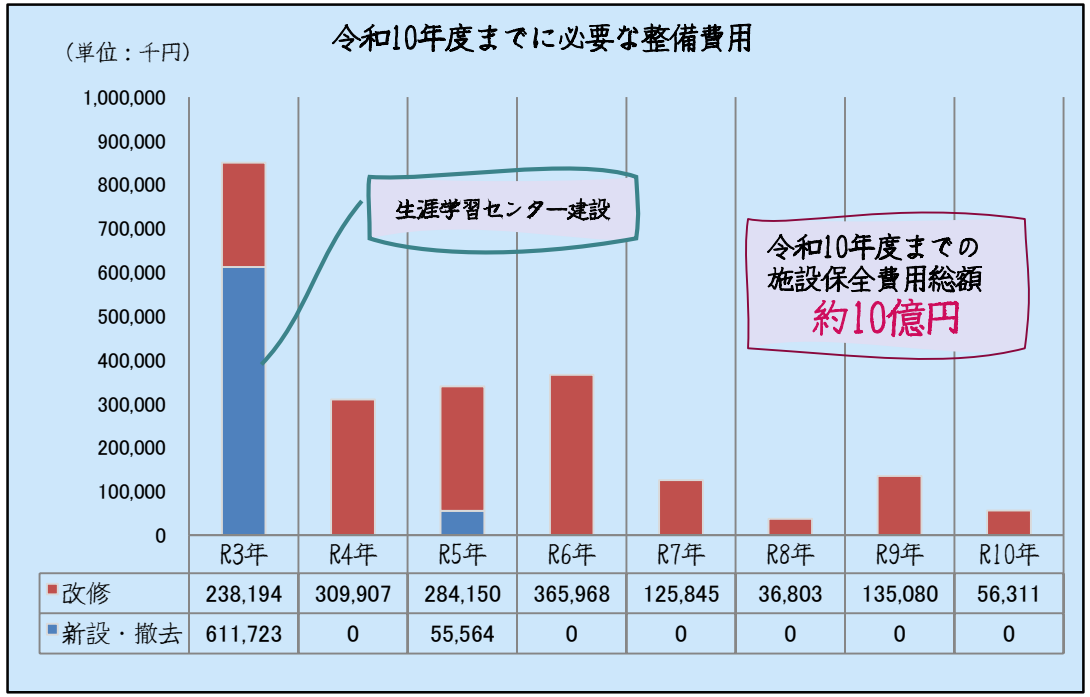


公共施設老朽化に伴う投資的経費の増

本町が策定した公共施設個別施設計画では、令和10年度までに必要となる改修費用は右図のとおりであり、多額の財源が必要となります。

これらの財源対策として、国庫支出金や地方債などの特定財源を活用しても一般財源の負担は避けられません。

借金が増えて貯金が減らないように平準化を図らないといけないね



	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年
改修	238,194	309,907	284,150	365,968	125,845	36,803	135,080	56,311
新設・撤去	611,723	0	55,564	0	0	0	0	0

町がこれから直面する課題は？

基金（貯金）の枯渇

右図は令和5年度決算から令和20年度決算見込みまでの収支見通しです。

直面する課題に対して何の取組も行わないと、財政調整基金（貯金）の残高が年々減少する見込みです。このままでは、将来的に基金が枯渇し、資金不足が生じる可能性があるため、財政収支を改善し、健全な財政運営に向けた緊急の取組みが必要となっています。

補足

歳入ー歳出＝形式収支となり、基本的には形式収支が赤字になることはありません。

それは、歳入より歳出が大きくなった場合、財政調整基金からの取り崩し（繰入金）を歳入とし、財源の補填を行うからです。

（例）

・町　税　150円
・国　費　50円
・府　費　50円
・町　債　100円
歳入合計：350円

－

・人件費　50円
・民生費　200円
・扶助費　100円
・公債費　100円
歳出合計　450円

＝ 歳入350円－歳出450円
形式収支＝▲100円

・町　税　150円
・国　費　50円
・府　費　50円
・町　債　100円
・繰入金　110円
歳入合計：460円

－

・人件費　50円
・民生費　200円
・扶助費　100円
・公債費　100円
歳出合計　450円

＝ 歳入460円－歳出450円
形式収支＝10円の黒字

財政調整基金が枯渇すると、この繰入による財源補填が出来なくなる可能性があります。

【収支見通し】

区　分	R5(決算)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
歳入合計	6,372	6,516	6,583	6,470	6,551	6,484	6,484	6,577	6,496	6,491	6,430	6,431	6,515	6,493	6,483	6,531
町税	1,388	1,373	1,382	1,385	1,371	1,360	1,349	1,331	1,318	1,305	1,285	1,271	1,257	1,234	1,217	1,199
地方交付税(臨財債含む)	1,970	2,049	2,000	1,997	2,010	2,017	2,025	2,038	2,048	2,057	2,072	2,083	2,093	2,111	2,124	2,138
交付金・地方譲与税等	408	418	425	432	434	435	436	436	436	437	437	436	436	436	435	435
国・府支出金	1,497	1,740	1,854	1,806	1,859	1,866	1,867	1,920	1,885	1,882	1,884	1,888	1,909	1,913	1,907	1,914
地方債	138	130	237	208	235	164	165	166	167	168	110	111	112	113	114	115
諸収入	551	503	503	503	503	503	503	503	503	503	503	503	503	503	503	503
繰越金、繰入金	420	303	182	139	139	139	139	183	139	139	139	139	205	183	183	227
歳出合計	6,166	6,473	6,639	6,672	6,692	6,694	6,654	6,848	6,770	6,774	6,731	6,745	6,908	6,942	6,903	6,981
人件費	1,204	1,282	1,266	1,329	1,296	1,352	1,320	1,442	1,344	1,400	1,390	1,402	1,525	1,515	1,528	1,585
扶助費	1,300	1,381	1,470	1,567	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670
公債費	407	393	382	374	374	355	349	339	318	303	289	271	277	284	290	296
建設事業費(災害復旧含む)	257	365	482	313	341	262	263	265	267	269	212	214	216	218	220	222
物件費	1,042	1,154	1,180	1,213	1,145	1,154	1,162	1,228	1,257	1,189	1,198	1,208	1,274	1,303	1,236	1,245
補助費等	696	750	755	760	765	770	775	780	785	790	795	801	806	811	817	822
繰出金	709	723	738	750	757	765	771	779	784	786	788	790	794	795	796	795
積立金等	551	425	366	366	344	366	344	345	345	367	389	389	346	346	346	346
収支過不足		43	▲56	▲202	▲141	▲210	▲170	▲271	▲274	▲283	▲301	▲314	▲393	▲449	▲420	▲450
財政調整基金残高	1,572	1,654	1,620	1,418	1,277	1,067	897	626	352	69	▲232	▲546	▲939	▲1,388	▲1,808	▲2,258

※歳入の「繰入金」欄について、令和6年度以降は財政調整基金からの繰入れは含んでいない

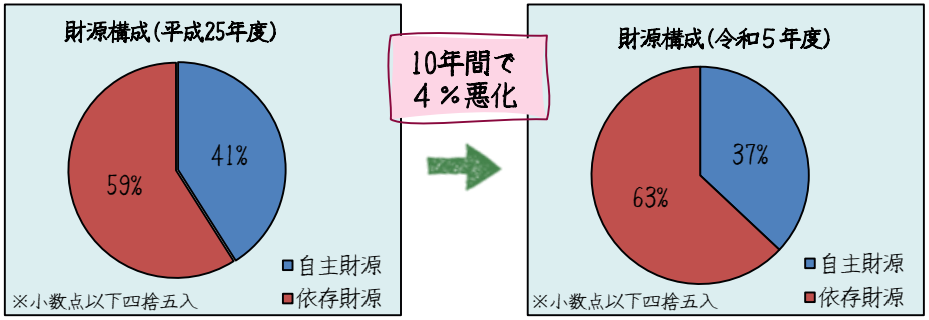
直面する課題に向けての取り組み

歳入

現状：減少傾向にある自主財源

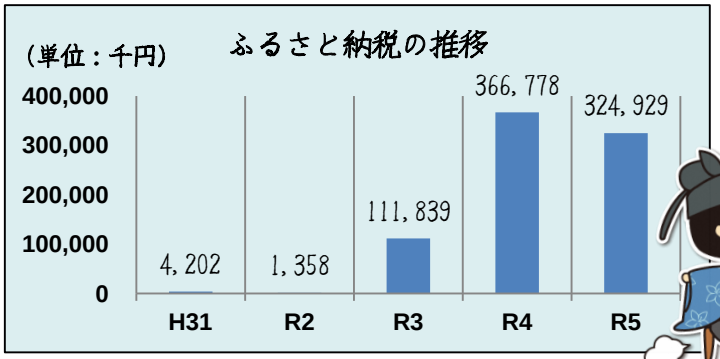
少子高齢化による生産人口の減少によって、町が自主的に収入できる自主財源(町税収入)は減少傾向にあります。

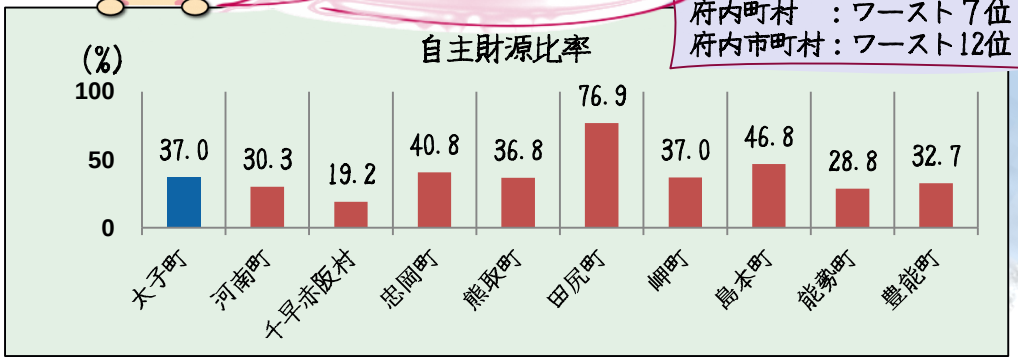
大阪府内でも本町の自主財源比率はかなり低い方ですが、今後増加が予想される社会保障給付費などの義務的経費に圧迫され、歳入の確保を積極的に取り組まなければ、ますます悪化することが予測されます。



対策例①：ふるさと納税の推進

令和３年度からPR方法や返礼品の見直しを実施したことで寄附額が増額しました。今後も継続的に寄附してもらえるようPRや返礼品を増やしていく必要があります。

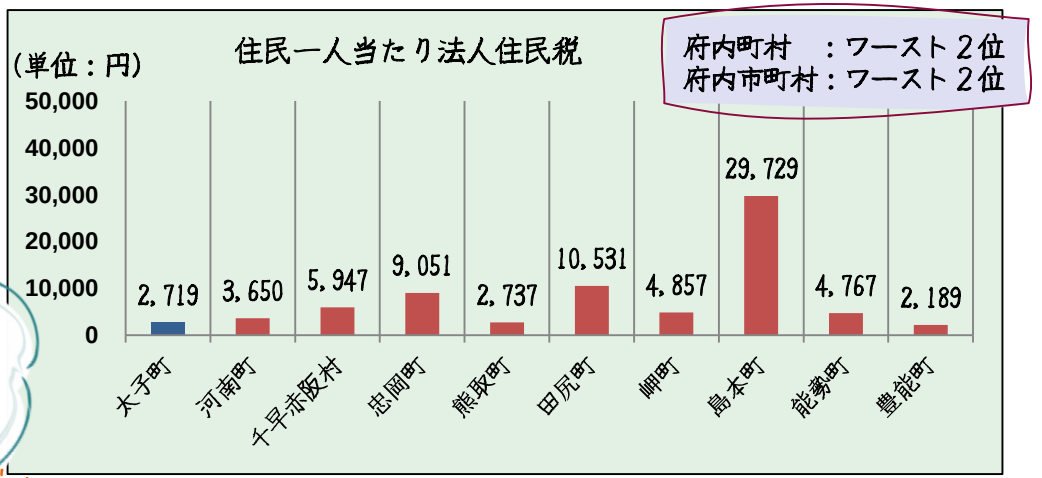




対策例②：企業立地の促進

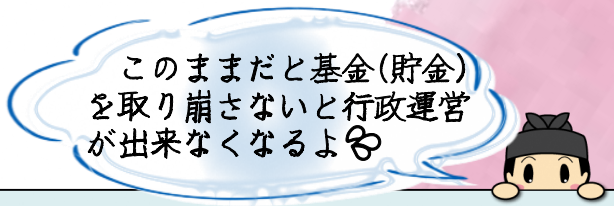
本町は他の市町村に比べ、法人住民税が少なく、府内市町村でも住民一人当たりの法人住民税は府内ワースト2位となっています。

安定した自主財源を確保するために、**企業立地促進制度の導入**を検討し、企業や店舗などの立地の促進に努める必要があります。



安定した財政運営を続けていくには、減少傾向である自主財源を積極的に確保するための取り組みが必要です。特に**ふるさと納税の更なる推進や企業誘致**に力を入れ、歳入の確保に努めます。

直面する課題に向けての取り組み

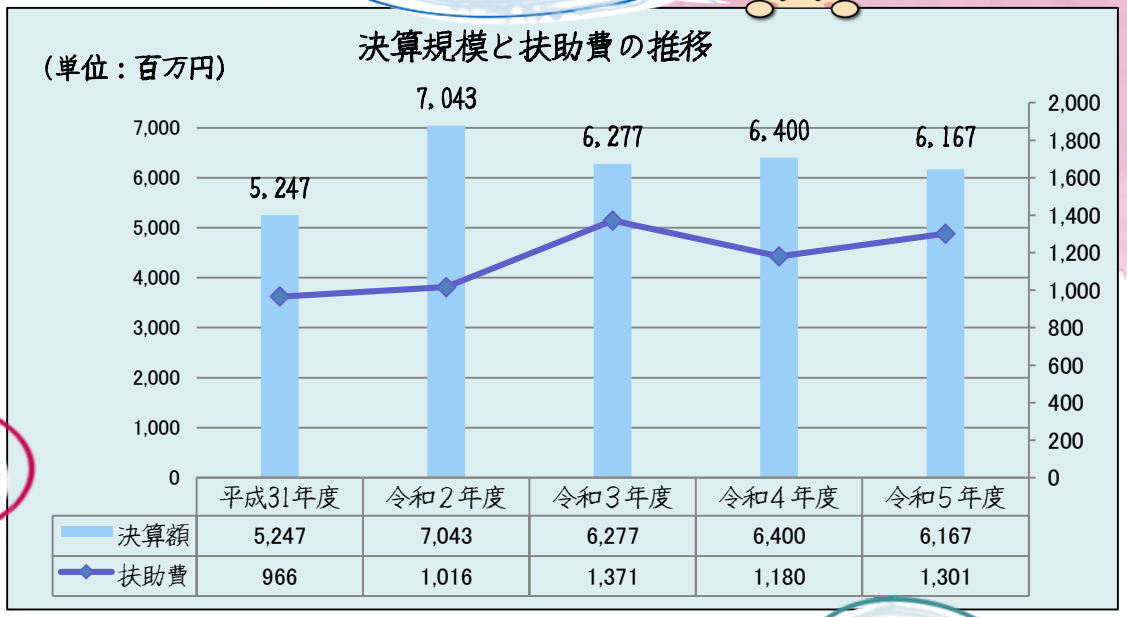


歳出

現状：高水準が続く決算

少子高齢化に伴う歳入減の一方で、扶助費をはじめとした社会保障経費などの増、また補助費や物件費などの経費の経常化により、決算規模が高止まりするなか、公共施設の老朽化対策など、さらに投資的経費の増加も予測されます。

※令和２年度は国施策により決算規模が膨らんでいます。



右の図を見ると、決算規模が増加傾向にあるね。
増加の要因として、社会保障経費が影響しているね。

●公民連携の推進
●広域連携の推進
●既存事務のスクラップ＆ビルド
●DXを活用した業務の効率化
●公共施設の適切な管理運営　etc…

●特定目的基金の有効活用
●税や国民健康保険料の徴収率向上
●未利用財産の利活用・処分
●公共施設マネジメントの推進
●地方公会計の活用　etc…

取組の方向性

①効率的で質の高い公共サービスの提供

多様化・複雑化する住民ニーズに対応しつつ、継続した公共サービスを提供するために、政策や課題などに重点的に取り組める体制を実現します。

②持続可能な行政基盤の確立

持続性のある行政運営と公共サービスの提供を両立させるため、単なる歳出カットではなく、歳入確保と共に行政のスリム化を図ります。

経常的な経費が増えている今の状態で、単なる歳出カットでは根本的な問題を何も解決出来ないよね。
だから、事業見直しなど、問題を解消するための取組を確実に実施する必要があるんだよ。

太子町　政策総務部　総務財政課

TEL:0721－98－0300
FAX:0721－98－4514